

別添1

基本評価シート
様式
(ニホンジカ)

(宮城県環境生活部自然保護課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	宮城県ニホンジカ・イノシシ生息状況等調査業務		
	宮城県指定管理鳥獣捕獲等事業（ニホンジカ）捕獲業務		
都道府県名	宮城県	担当者部・係名	自然保護課 野生生物保護班
担当者名	玉手	担当者連絡先	022-211-2673
捕獲実施事業者	一般社団法人宮城県猟友会 (認定を受けている)	予算額（※2）	248,143,512円
		予算額の内捕獲に要する経費（※3）	37,954,400円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和5年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

地区名	事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
		捕獲頭数	目標達成率
県北東区域	100頭	340頭	340%
石巻・女川区域	450頭	540頭	120%
県内陸区域	50頭	28頭	56%
合計	600頭	908頭	151%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
14,764頭（令和4年度末）	5,750頭/年	なし
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲（個体数調整）
231頭	3,132頭	0頭

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

平成 23 年度から牡鹿半島地域を対象として県による個体数調整を実施し、平成 25 年度から平成 26 年度までは気仙沼地域を対象に加えて実施。

2. 令和 5 年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>記述欄： ニホンジカによる生活環境、農林業又は生態系に対する被害の動向、本県内におけるニホンジカの捕獲数及び生息数の動向、生息数と被害の関連性等の観点から、第二種特定鳥獣管理計画の目標を達成するため必要に応じて、既存の個体群管理のための事業に加え、指定管理鳥獣捕獲等事業を実施する。</p> <p>※特定計画の中での指定管理鳥獣捕獲等事業の位置づけも記載する。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乗せした。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<input type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	令和 5 年 1 0 月 2 日から令和 6 年 3 月 1 5 日まで （うち捕獲実施期間、令和 5 年 1 1 月 1 日から令和 6 年 2 月 2 9 日まで（4 カ月））
実施区域	<p>県北東区域：生息密度の急激な増加が確認されている地域であり、今後の被害増加を抑制するために捕獲圧を与える必要がある。</p> <p>石巻女川区域：原住地域である牡鹿半島から生息域を拡大しており、半島以外の地域でも生息密度が高く早急に個体数の減少が必要な地域である。</p> <p>県内陸区域：近年目撃情報が寄せられている地域であり、生息域拡大防止のために捕獲圧を与える必要がある。</p> <p>※1：実施区域の特徴も記入 ※2：事業計画の地図がある場合は、図面を添付</p>
関係機関との協力	事業区域の市町村及び所轄の警察署に対し、業務の協力依頼を行った。
事業の捕獲目標	（151%達成） =（908 実績値）／（600 目標値）
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り <input type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input checked="" type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>※1：各種猟法の定義は9ページ参照、※2：複数チェック可</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部（耳、尾など）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 写真（詳細を記載：個体番号を付けて撮影）</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>※複数チェック可。</p>
捕獲個体の処分	捕獲個体の処分について

	<input type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。 ※複数チェック可
環境への影響の配慮	わなによる錯誤捕獲について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。
	わなによる錯誤捕獲の未然防止について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 （内容：くくりわなの輪の直径を12センチメートル以内とし、かつワイヤーの直径が4ミリメートル以上、締め付け防止金具及びよりもどしを設置） <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。
	鳥類の鉛中毒等について <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。
	鉛製銃弾について <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	安全管理規程を有しており、安全管理の体制は申し分ない。
捕獲従事者の体制	【雇用体制】 捕獲従事者数：646人 （内訳） 正規雇用者： 人、期間雇用者： 人 日当制： 人

3. 令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点*	
【目標達成】	評価： 目標達成率は151%と目標を大きく超える捕獲実績となった。区域別では県北東区域で340%と目標捕獲数の3倍の捕獲実績があったのに対し、生息密度の低い県内陸区域では56%となり、区域ごとに大きな差があった。
	改善点： 県北東区域は昨年度事業から気仙沼市が追加され、その分の捕獲数上乘せがあった。そのため、今年度の捕獲実績をもとに目標捕獲数の見直しを行う必要がある。
【実施期間】	評価： わな猟、銃猟ともに期間中継続的に捕獲ができていたことから、適切な実施期間を設定することができた。
	改善点： 引き続き各区域の捕獲実績等から効果的・効率的な捕獲実施期間の設定をおこなう。
【実施区域】	評価： 生息密度の高い石巻女川区域だけでなく比較的捕獲実績が少なく生息密度の低い県内陸区域も実施区域とすることで、生息

	域拡大抑制に貢献できた。
	改善点：引き続きニホンジカの生息域拡大の可能性も考慮し、モニタリング調査などの情報をもとに毎年適切な実施区域を設定する。
【捕獲手法】	評価：生息密度の高い石巻女川区域では銃猟とくくりわな中心で捕獲を実施し、県北東区域ではくくりわな中心の捕獲をすることで、効率的に捕獲を進めることができた。しかし、県内陸部では生息密度が低いため、捕獲効率があがらず目標達成することができなかった。
	改善点：生息密度の低い地域では捕獲効率が上がらないため、ICTを活用した低労力化などにより効率的な捕獲を目指す必要がある。
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価：十分な捕獲従事者を配置することができた。
	改善点：引き続き適切な実施体制が整えられるよう指導する。
【個体処分】	評価：適切に埋設等実施された。
	改善点：引き続き適切な個体処分に努めるよう指導する。
【環境配慮】	評価：特に外部からの問い合わせは無かった。
	改善点：引き続き環境配慮に努めた事業実施を指導する。
【安全管理】	評価：事故無く捕獲事業が実施できた。
	改善点：引き続き無事故が続くように、事業者へ安全への配慮に努めるよう指導する。
3. その他の事項に関する評価及び改善点	
4. 全体評価	
低密度地域における捕獲効率の低さが今後の課題ではあるが、事業全体では地域ごとに適切な猟法を選択し、効率的に捕獲を行うことで、捕獲目標に対し151%の捕獲実績をあげることができた。	

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

本事業の実施により、第二種特定鳥獣管理計画の捕獲頭数の目標に上積みすることができた。実施場所はニホンジカの侵出抑制地域が含まれており、生息域拡大防止に一部寄与したと考えられる。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input checked="" type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 （ 体重、体長、体高 ）	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 （わな稼働日数＝わな基数×稼働日数）	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ地図

	<input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する 上での課題	

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数^{※1}： 不明 人日

事前調査人日数概数^{※2}： 不明 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 469人日

項目	令和5年 (事業年度の値)	令和4年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数 (1日に複数のメッシュに出 役した場合はそれぞれ1 日とする)	469人日	1,061人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数^{※1}： 不明 人日

事前調査人日数概数^{※2}： 不明 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 不明 人日

項目	令和5年 (事業年度の値)	令和4年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	50,016基日	76,320基日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和5年 (事業年度の値)	令和4年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	139頭	439頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
②目撃数	533頭	1,700頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	48.2% (67頭/139頭)	49.2% (216頭/439頭)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数 [※] /全捕獲数)	0.0% (0頭/139頭)	14.4% (63頭/439頭)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(銃器)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数 ^{※1}	CPUE ^{※2}	SPUE ^{※3}
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り	139頭	469人日	0.296頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少	1.136頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数/のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数/のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

③わなによる捕獲

項目	令和5年 (事業年度の値)	令和4年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	769頭	818頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	52.5% (404頭/769頭)	60.5% (495頭/818頭)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
② 幼獣・成獣比 (幼獣数 [※] /全捕獲数)	0% (0頭/769頭)	7.1% (58頭/818頭)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(わな)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数 ^{※1}	CPUE ^{※2}
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	769頭	49,812基日	0.015頭/基日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 箱わな	2頭	204基日	0.0098頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUEは前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数: 不明 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数: 86個体(自家消費含む)

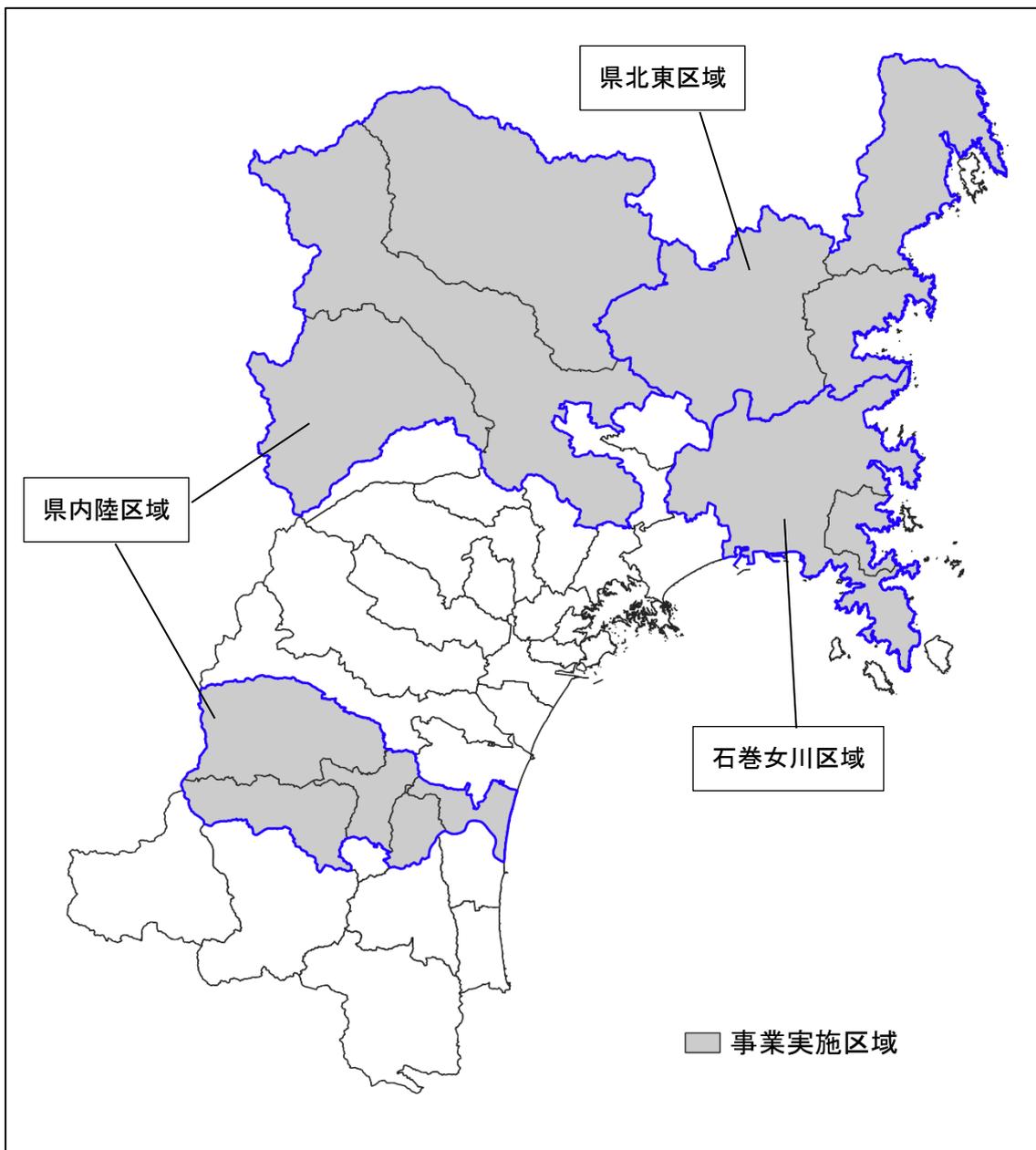
適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

通しナンバーを捕獲個体の左側胴体にペンキ等で記入するか、又はホワイトボード・黒板等に記入し、捕獲個体とともに写真を撮ったもの。

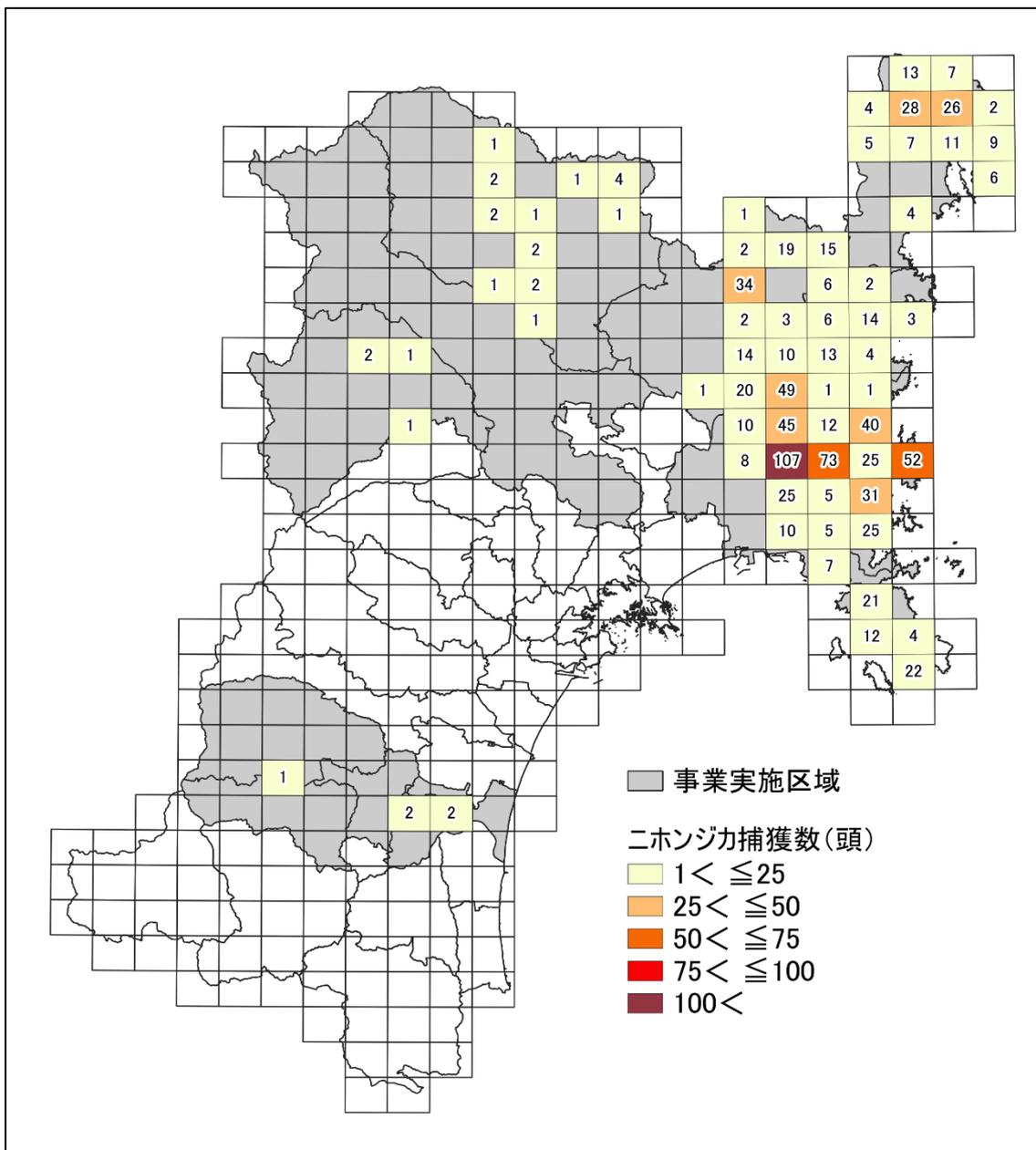
捕獲手法は、地域により様々なものが想定されることから、下記の定義は本評価シートでの暫定的なものです。

誘引狙撃	餌等により、対象種を誘引し、所定の位置から銃器により捕獲等する猟法。
巻き狩り	犬や勢子により追い出した対象種を、所定の位置で待機する射手が銃器で捕獲等する猟法。
忍び猟	単独の射手が徒歩で対象種を追跡して、射撃可能な地点で銃器により捕獲等する猟法。
車両を用いたモバイルカリング	所定の巡回ルートを車両で移動し、射撃可能な位置の対象種を銃器により捕獲等する猟法。
夜間銃猟	法律上必要な手続を全て完了した上で、日出前若しくは日没後において銃器を使用した鳥獣の捕獲等。

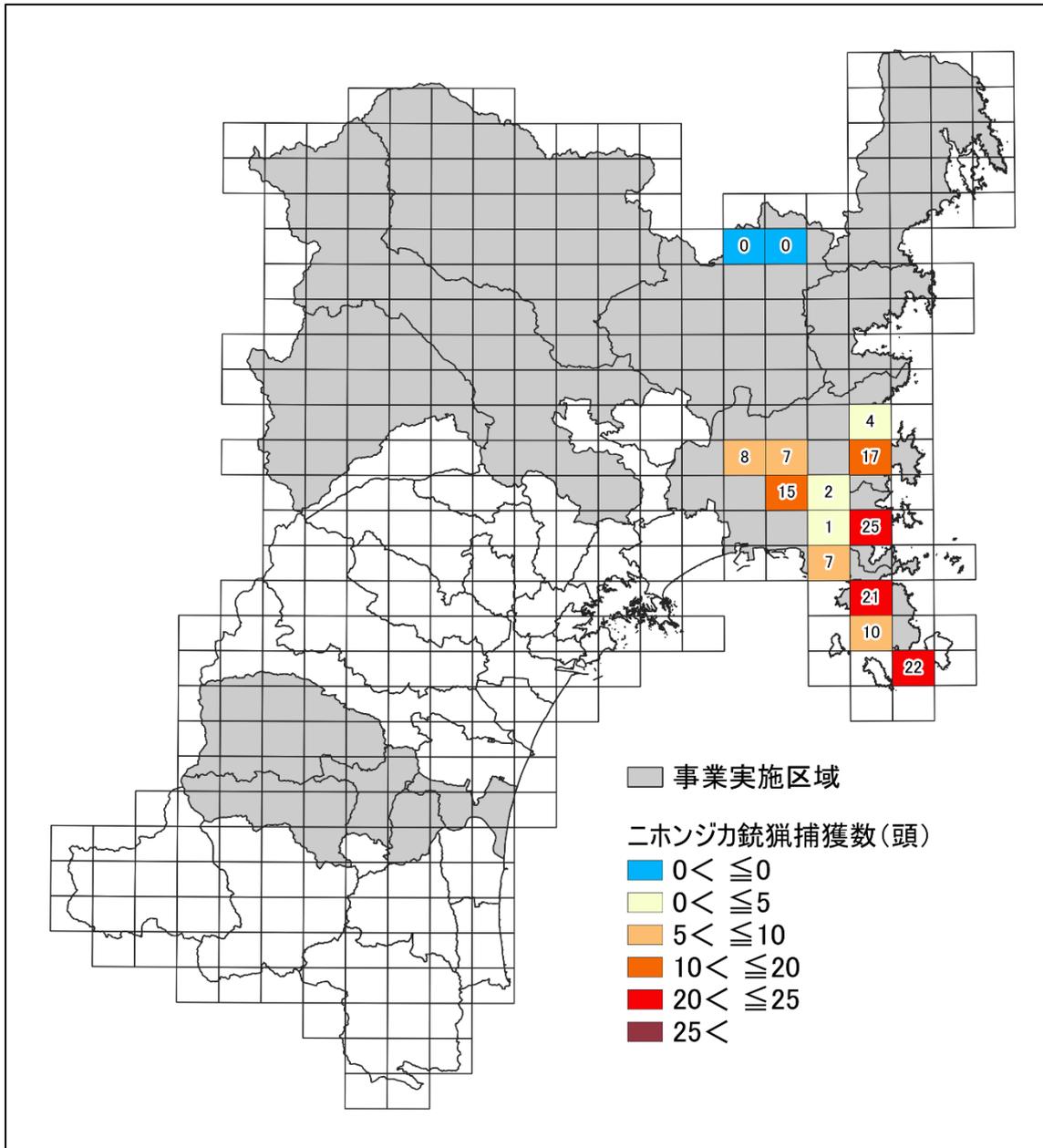
令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業捕獲（ニホンジカ）実施区域位置図



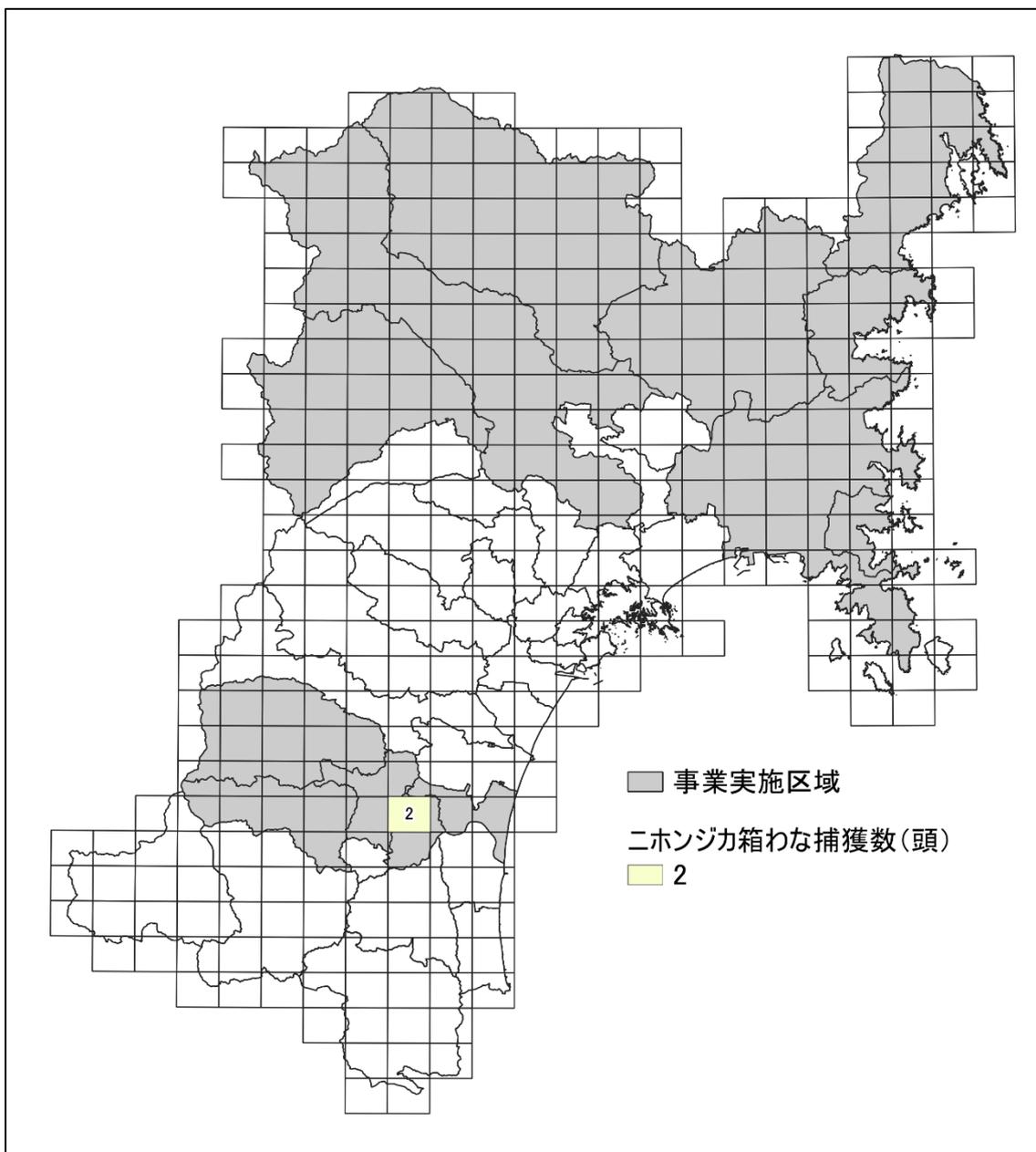
令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業捕獲（ニホンジカ）捕獲位置図



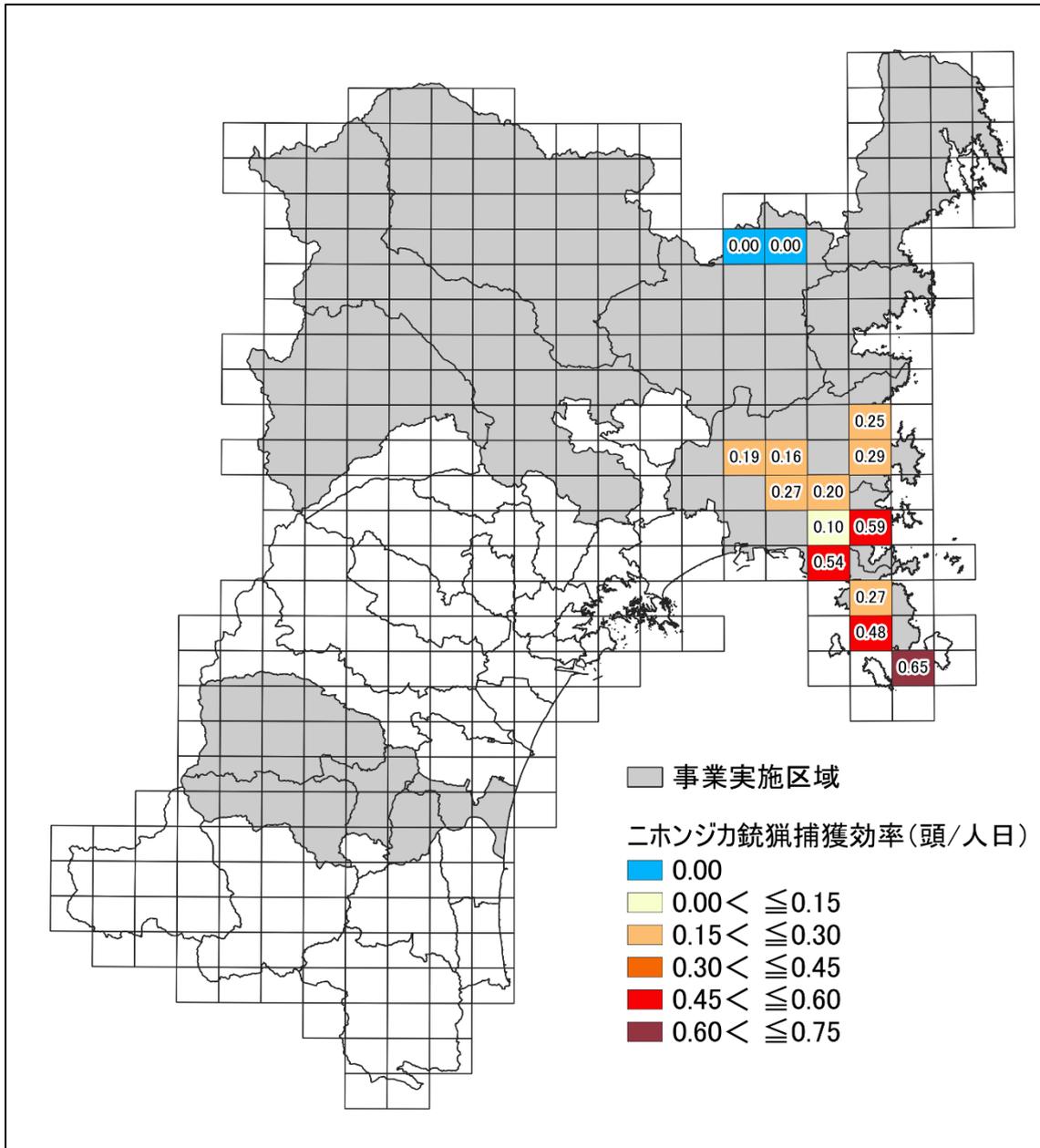
令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業捕獲（ニホンジカ）捕獲数（銃猟）位置図



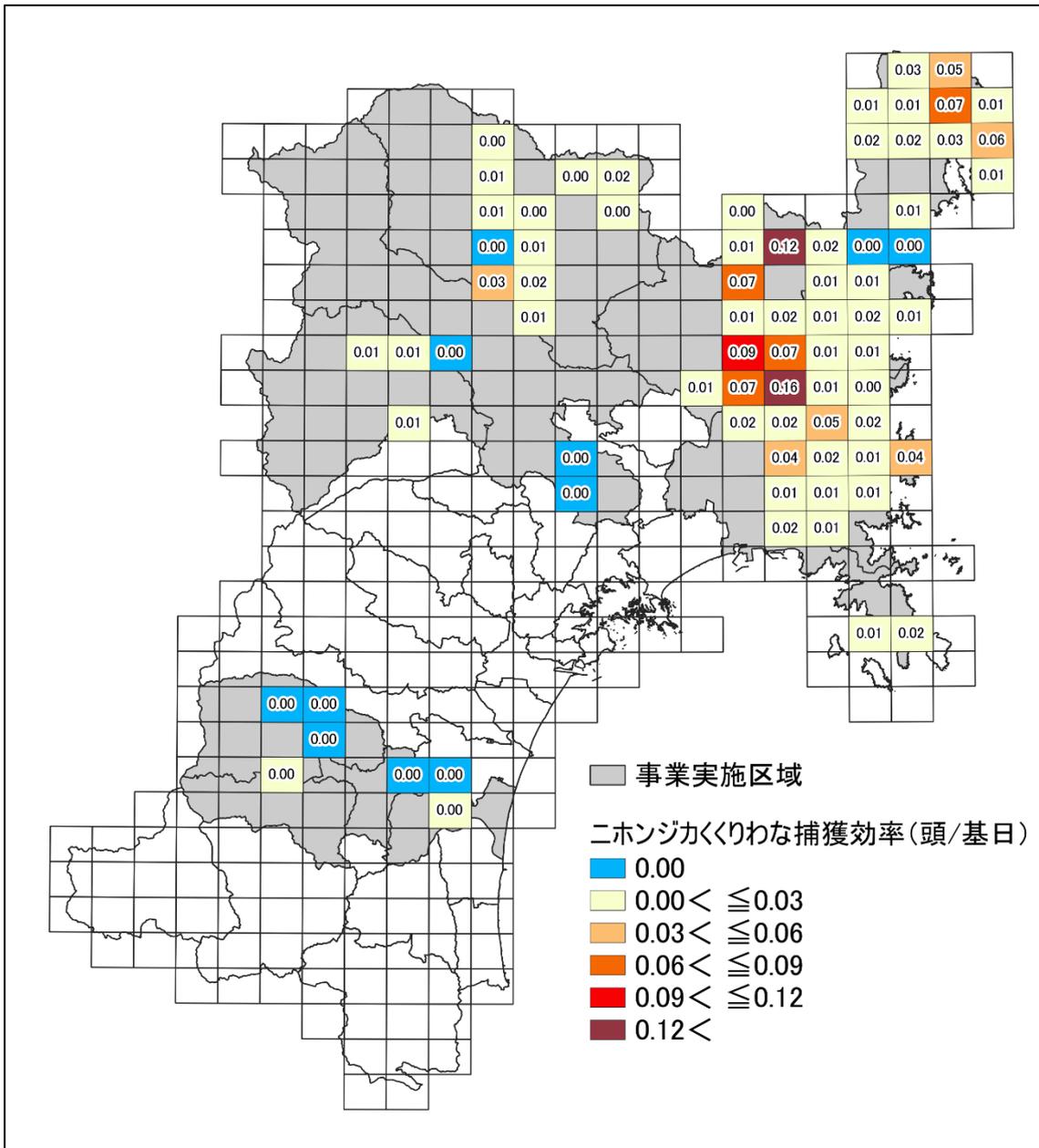
令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業捕獲（ニホンジカ）捕獲数（箱わな）
位置図



令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業捕獲（ニホンジカ）CPUE（銃猟）位置図



令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業捕獲（ニホンジカ）CPUE（くくりわな）
位置図



令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業捕獲（ニホンジカ）SPUE 位置図

